

特急ときわ号で暴力行為発生

「新着席サービスは定着している」と言えるのか！



車掌に対する
暴力行為は許さない！！
「社員の皆さんへ」の掲示とは・・・

10月27日のときわ90号にて本務担当（一人乗務）である組合員が、土浦～柏で車内改札中に男性旅客から暴力行為を受ける事象が発生しました。

土浦から90M6号車の指定席券を購入していた旅客が、土浦以北から座席未指定券でその座席に座っていたことに腹を立て、車掌に対し「全額返金しろ」と主張しました。車掌は、座席未指定券の旅客を別の席へ案内をしたのちに指定券の旅客には、お詫びをしました。

しかし、納得をされずに乗務員室に戻る際に進路をふさがれて手のひらで車掌の腕を叩かれました。

柏駅で車掌と当該旅客は、下車して警察の事情聴取を受けました。

なお90Mには土浦～上野で便乗車掌がいたので、柏～上野間を急遽本務担当として乗務することになりました。が事象です。

会社は、発生した2日後に「社員の皆さんへ」の掲示をしました。組合員からは、「今までは、こんな掲示見たことがない」、「一人乗務にしたから起きたんだ」、「これでは安心して仕事ができない」、「やっぱり複数乗ってないとダメだね！」と様々な声がありました。

しかも、事象を受けて慌てて支社社員が添乗しました。会社の検証結果は、どのように分析をしたのでしょうか・・・明らかにしないから疑問と怒りが残ります。

分会では、団体交渉などで再三指摘していましたが、懸念していたことが残念ですが発生してしまいました。今後も指摘していきます。

組合員の一日も早い回復と復帰にサポートしていきます。

10月27日、常磐線特急「ときわ90号」で上野車掌区分会組合員が暴力行為を受けました。

被害にあわれた仲間に関心からお見舞いを申し上げます。一日も早い回復をお祈りいたします。

どのような理由があろうとも暴力は許されません。地本は、暴力行為を防止するための具体的な対策を求めています。

暴力行為に至った原因をつきとめることが重要です。

上野車掌区分会の報告では、暴力をふるった旅客が予め購入していた指定席に、座席未指定券を所持していた旅客が着席していたことが発端となっています。

上野車掌区分会は、本部本社間の「常磐線特急乗務体制の見直しに関する確認メモ」に基づいて、東京支社に対して検証データを示すこと求めましたが、具体的なデータを開示されませんでした。東京支社は車掌一人乗務が可能な根拠として「新着席サービスの定着」と説明していました。

職場では「一人乗務にしたから起きたんだ」「これでは安心して仕事ができない」「やっぱり複数乗ってないとダメだね」と意見が出ています。

暴力行為発生を受けて上野車掌区では「社員の皆さんへ」が掲示されましたが、今回の事象を掘り下げることなく、暴力行為に対してあくまで一般論を述べる会社の姿勢に、組合員から怒りの声が出されています。